

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和3年8月】

■調査概要（データ対象期間：令和3年8月1日～8月31日）

○調査期間：令和3年8月25日～令和3年9月16日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業22企業、卸売業12企業、小売業27企業

飲食業17企業、サービス業40企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計138企業>

○調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DI共にマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲14.1）よりマイナス幅が13.5ポイント拡大し、▲27.6となった。業種別では、製造業はプラス幅が拡大した。建設業ではマイナス幅が縮小し、卸売業、サービス業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

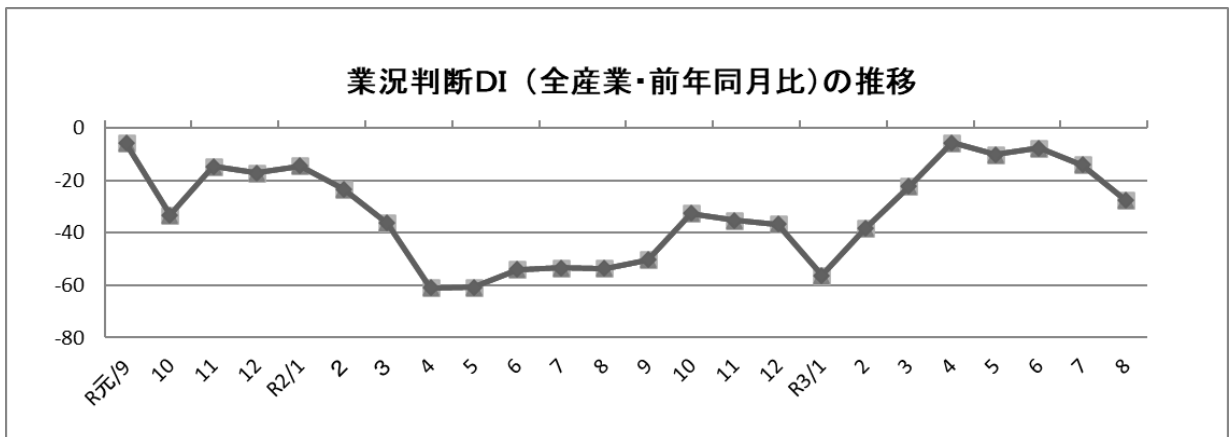
○全産業合計の水準DIは、前月（▲37.1）よりマイナス幅が10ポイント拡大し、▲47.1となった。業種別では、建設業ではマイナス幅が縮小した。小売業、サービス業、製造業、飲食業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	12.3 (17.0)	47.8 (51.9)	39.9 (31.1)	▲ 27.6 (▲ 14.1)	5.1 (8.1)	42.7 (46.7)	52.2 (45.2)	▲ 47.1 (▲ 37.1)
建設業	0.0 (0.0)	70.0 (68.4)	30.0 (31.6)	▲ 30.0 (▲ 31.6)	0.0 (0.0)	70.0 (68.4)	30.0 (31.6)	▲ 30.0 (▲ 31.6)
製造業	45.5 (35.0)	27.2 (45.0)	27.3 (20.0)	18.2 (15.0)	13.6 (20.0)	40.9 (45.0)	45.5 (35.0)	▲ 31.9 (▲ 15.0)
卸売業	25.0 (30.0)	25.0 (20.0)	50.0 (50.0)	▲ 25.0 (▲ 20.0)	8.3 (20.0)	33.4 (30.0)	58.3 (50.0)	▲ 50.0 (▲ 30.0)
小売業	3.7 (13.6)	48.2 (54.6)	48.1 (31.8)	▲ 44.4 (▲ 18.2)	11.1 (9.1)	33.3 (40.9)	55.6 (50.0)	▲ 44.5 (▲ 40.9)
飲食業	0.0 (15.0)	17.6 (35.0)	82.4 (50.0)	▲ 82.4 (▲ 35.0)	0.0 (0.0)	11.8 (30.0)	88.2 (70.0)	▲ 88.2 (▲ 70.0)
サービス業	7.5 (15.9)	67.5 (61.4)	25.0 (22.7)	▲ 17.5 (▲ 6.8)	0.0 (6.8)	52.5 (52.3)	47.5 (40.9)	▲ 47.5 (▲ 34.1)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

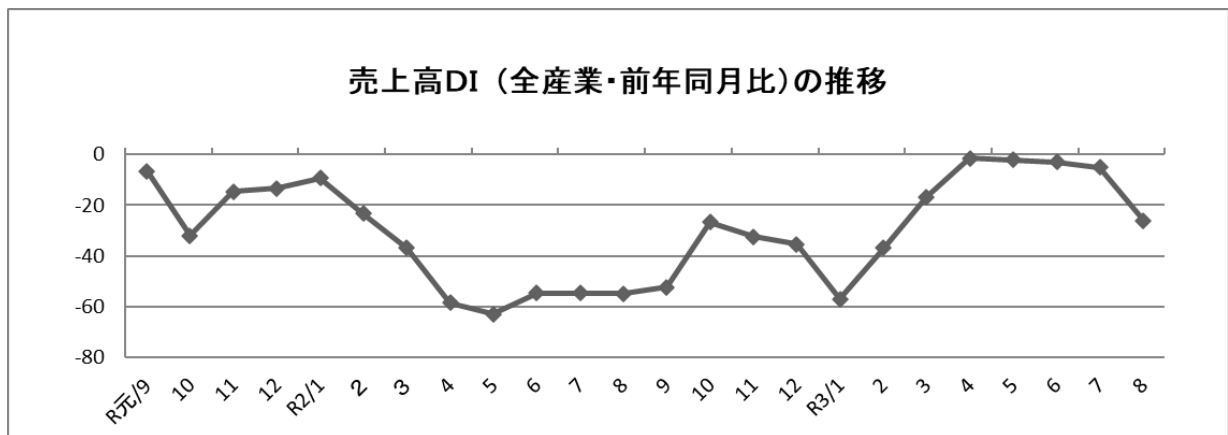


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲5.1）よりマイナス幅が21ポイント拡大して、▲26.1となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が縮小した。サービス業は0からマイナスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業、小売業、飲食業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 54.9	▲ 52.4	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 35.4	▲ 57.0	▲ 37.0	▲ 16.8	▲ 1.4	▲ 2.2	▲ 2.9	▲ 5.1	▲ 26.1
建設業	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2	▲ 26.3	▲ 25.0
製造業	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0	35.0	22.7
卸売業	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0	7.7	▲ 10.0	▲ 25.0
小売業	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 13.6	▲ 48.2
飲食業	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 82.4
サービス業	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲ 15.0

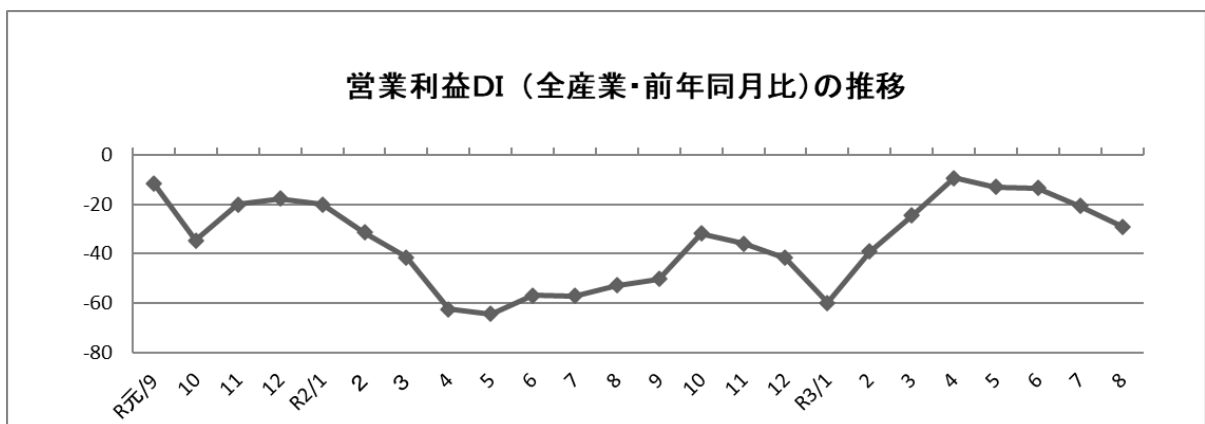


3. 営業利益D I（前年同月比）

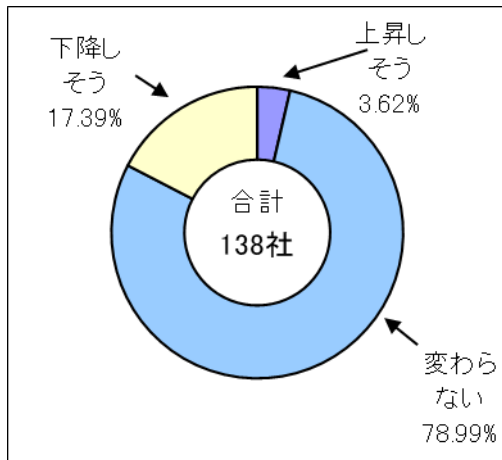
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲20.8）よりマイナス幅が8.2ポイント拡大して、▲29となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が縮小した。建設業、卸売業ではマイナス幅が縮小し、サービス業、小売業、飲食業ではマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 52.8	▲ 50.3	▲ 31.9	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 60.0	▲ 39.2	▲ 24.5	▲ 9.3	▲ 13.0	▲ 13.5	▲ 20.8	▲ 29.0
建設業	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 30.0
製造業	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0	5.0	4.5
卸売業	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 16.7
小売業	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 37.0
飲食業	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 82.4
サービス業	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5	▲ 15.9	▲ 22.5



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

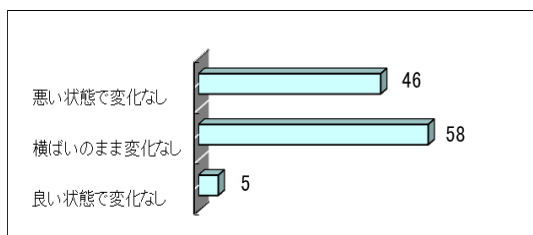


○令和3年9月～令和3年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.4ポイント上昇し3.62%、「下降しそう」が1.13ポイント減少し17.39%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.0)、製造業(▲27.3)、卸売業(▲16.7)、小売業(▲14.8)、飲食業(▲29.4)、サービス業(▲7.5)であった。

➡「上昇しそう」では「関東の物件がオリンピック、パラリンピック終了により回復したため」「前線停滞による8月の長雨で松本・塩尻で災害が50箇所発生し復旧工事があるため」(建設業)「回収の見込めるプロジェクトが進行中であるため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「ワクチン接種が進んでいるため」といった声が多数寄せられた。

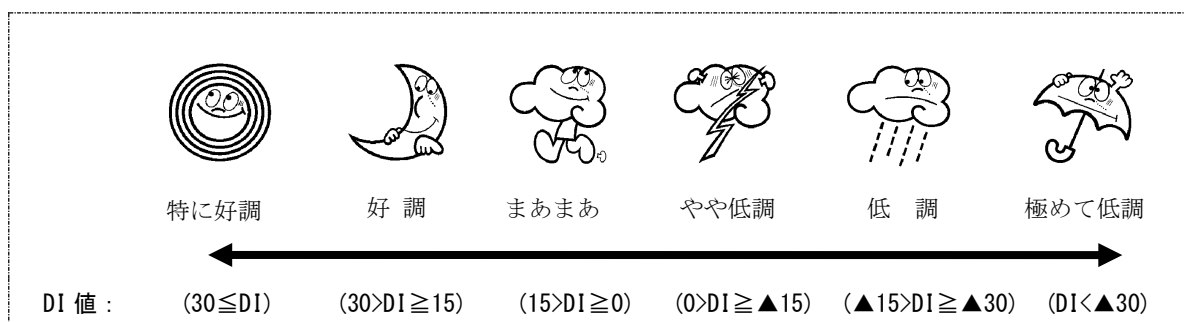
➡「変わらない」では「季節商品の需要が増加すると考えているため」「8月は昨年実施した企画を無くし、売上が減少しそうなため」(小売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「行政の予算組の話がDXにより全く途絶えており相当深刻であるため」「電子部品が更に不足しそうなため」「新たな受注が見られないため」「トヨタ自動車の減産のため」(製造業)「気候による野菜の不作、高騰のため」(卸売業)「时期的要因と、新型コロナウイルス感染症のため来客が見込めないため」「様々な影響により新車が入ってこないため」(小売業)「ワクチン接種次第で変化しそうなため」「Go To Eatの利用がなければ期待できないため」(飲食業)「緊急事態宣言次第になるため」「求職者数の落ち込みにより職業訓練者数が微減に転じたため」「新型コロナウイルス感染症の影響があり、なおかつ昨年はGo To Eat キャンペーン事業があったため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「コロナ禍による影響を受けているため」といった声が多数寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 35.0	▲ 39.1	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 13.6	▲ 47.4	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.4	▲ 18.2	▲ 26.3	▲ 25.0
受注量	▲ 25.0	▲ 34.8	▲ 21.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 31.5	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 45.0	▲ 28.5	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 20.0
受注単価	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 10.5	▲ 13.7	▲ 4.5	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 15.8	▲ 10.0
営業利益	▲ 40.0	▲ 30.4	▲ 31.6	▲ 36.4	▲ 31.8	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 36.8	▲ 30.0
見通し	0.0	▲ 8.7	▲ 10.6	▲ 13.7	▲ 4.6	10.5	0.0	▲ 20.0	▲ 5.0	14.2	4.5	0.0	5.0

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

・鋼材の品薄感が先月に増して感じられる。今後の受注に影響があるのではないかと考えている。

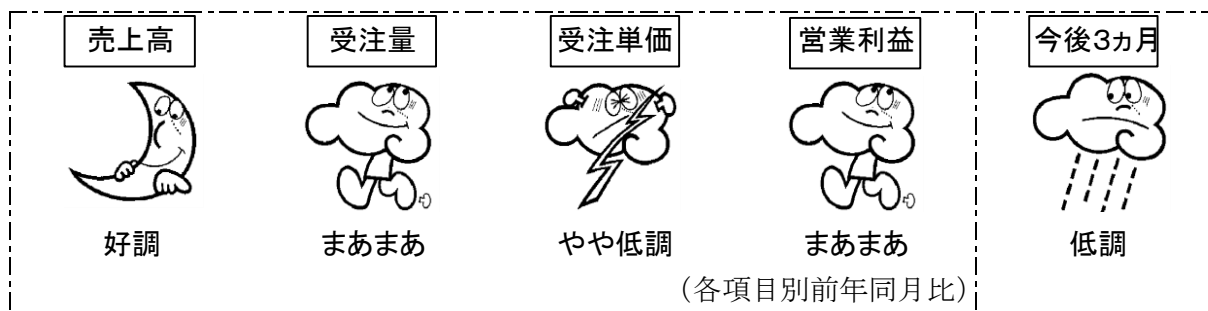
電気工事

・新型コロナウイルス感染者が取引先においても発生し現場に影響が出ていると耳にした。今後どのようなようになるのかは誰も予測できないが仕事の受注に影響しないことを願いたい。

総合建設

・お盆の長雨によって約50箇所災害が発生している。今後もっと増える見込みである。復旧工事の対応に追われそうである。

2. 製造業



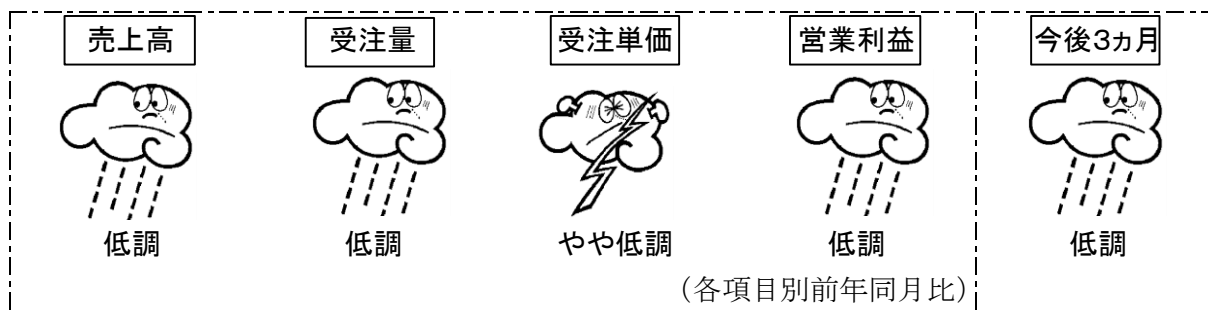
【項目別DIの推移】

	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 68.2	▲ 64.0	▲ 47.6	▲ 38.1	▲ 43.5	▲ 68.4	▲ 36.3	▲ 27.3	▲ 8.7	16.7	25.0	35.0	22.7
受注量	▲ 59.1	▲ 52.0	▲ 42.8	▲ 33.4	▲ 56.6	▲ 57.9	▲ 31.8	▲ 13.7	▲ 8.7	8.3	25.0	25.0	9.1
受注単価	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 17.4	▲ 21.1	▲ 18.2	▲ 18.2	0.0	0.0	5.0	0.0	▲ 9.1
営業利益	▲ 59.1	▲ 60.0	▲ 52.4	▲ 57.1	▲ 56.5	▲ 73.6	▲ 31.8	▲ 31.9	▲ 17.4	4.2	▲ 5.0	5.0	4.5
見通し	▲ 22.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 14.2	▲ 17.4	15.8	18.2	4.5	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 27.3

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|----------|--|
| 精密機械 | ・仕事のニーズは高まっているが、部品の不足や人材不足が足を引っ張っている。特に外国人技能実習生が入国できない事が新型コロナウイルス感染症の影響として現状では最も打撃が大きい。 |
| 精密機器組立 | ・半導体等電子部品の入手が厳しく減産が続いている。今後についても不透明でいつまで続くか心配である。 |
| 小型情報機器組立 | ・半導体の入荷次第で変わる。 |
| 金属塗装 | ・前年比では売上、受注等上昇しているが、前年が悪すぎたため例年で見ると今年もあまり良くない。コロナ禍のためアジアでの部品落ち込みで車の生産が落ち、当社受注にも悪影響が出ている。 |
| 印刷 | ・デルタ株による新型コロナウイルス感染症第4波から第5波への影響により、イベント中止による印刷物減少が発生している。ほぼ昨年同様の夏季イベント中止状況により、相当厳しい打撃を受けた印象がある。景気動向調査票では印刷業は製造業のジャンルで括られているため、他の機械金属等の製造業の回復基調の陰に隠れて、相当深刻な状況であるのだがそれが見えにくい状況になっている。DXは製造業では追い風だが、印刷業には相当深刻な逆風である。 |
| 清酒製造業 | ・お盆以降動きが鈍くなり、長野県での新型コロナウイルス感染状況の影響を受けたように感じる。 |

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 60.0	▲ 61.5	▲ 25.0	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 58.3	▲ 41.7	23.1	33.4	10.0	7.7	▲ 10.0	▲ 25.0
販売客数	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 33.3	7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 16.6
販売客単価	13.3	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 41.7	15.4	8.4	30.0	15.4	10.0	▲ 8.3
営業利益	▲ 46.7	▲ 46.1	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 23.1	▲ 58.3	▲ 33.4	7.7	16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 16.7
見通し	0.0	7.7	▲ 8.3	▲ 15.4	▲ 23.1	8.4	25.0	7.7	▲ 16.7	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 30.0	▲ 16.7

<経営者の目・見方・etc>

青果

・野菜の価格安に加えて盆中の長雨で客足が止まり、販売が苦戦している。果実については盆中の低温で主力である地元産物の売れ行きが厳しい状況となった。

青果卸小売業

・新型コロナウイルス感染拡大と大雨による影響でお盆の人流がなく、売上も減少した。

魚介類

・飲食店、飲食店関連の構造不況がひどい。

土産品

・長雨の影響を受け大変厳しい状況だった。新型コロナウイルス感染拡大もあり、夏の観光シーズンに売上を出すことができず、まだまだ我慢が続きそうだ。

機械工具

・8月は休みが多かったが、その割には売上は良かった。忙しさは戻ってきている。

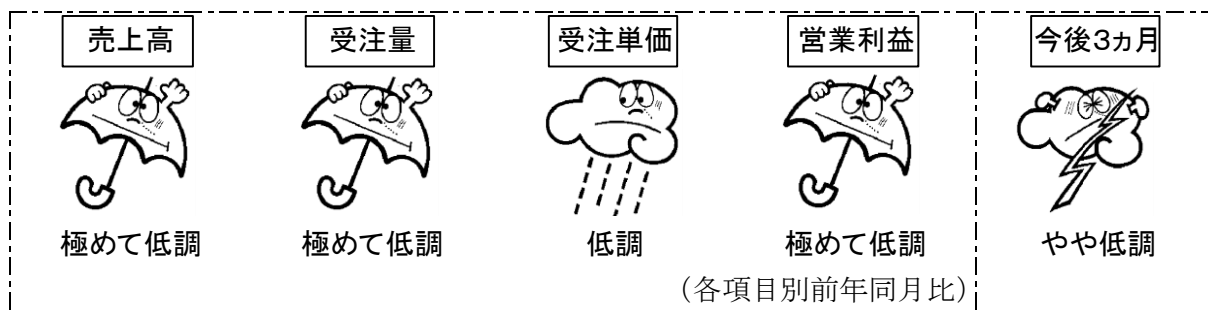
金属製品

・依然として板関連中心に品薄の状況が続いている。オリンピックも終わり建築案件は引合いがあるが、コラム高力ボルトの納期確認で工期延長の影響が出始めている。

自転車

・人の動きがなくなり、直接的ではないが影響を受けている。お客様の来店数、購買意欲とも減少している。仕入は、材料費の値上がりのため、今後商品の値上げが予定されている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 43.5	▲ 36.4	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 7.4	▲ 38.5	▲ 8.4	▲ 11.1	3.6	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 13.6	▲ 48.2
販売客数	▲ 30.4	▲ 36.4	▲ 26.1	▲ 26.1	▲ 29.7	▲ 53.9	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 10.8	▲ 4.1	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 44.5
販売客単価	▲ 21.7	▲ 31.9	▲ 4.3	▲ 21.7	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 14.8	▲ 10.7	▲ 8.4	▲ 29.2	▲ 13.7	▲ 29.6
営業利益	▲ 43.5	▲ 36.3	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 18.5	▲ 46.2	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 37.0
見通し	▲ 17.4	0.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 18.5	▲ 3.8	0.0	7.4	▲ 14.3	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 13.7	▲ 14.8

<経営者の目・見方・etc>

陶磁器

・オリンピックやパラリンピックは予想通り盛り上がったが、新型コロナウイルス感染拡大は予想を超え、楽しみにしていたOMFは結局中止となった。観光のピークシーズンにも関わらず、対面での経済活動が大きく制限された一方で夏休み期間中の県外ナンバーの増加は目立ち、心境は複雑である。大都市圏では緊急事態宣言が常態化しているが、空きテナントに関する大手からの照会は急回復にある。急速に進むワクチン接種が収束に有効ならばよいのだが、この冬の再流行にも備えなければならない。

印章

・連休、お盆休みとも、県外からの観光客がそれなりに入ってきていた。地域経済的には有り難いが感染者も増えてしまったので痛し痒しである。結婚を機に印鑑をご注文下さる女性のお客様が增加してきているが、結婚式、披露宴は先延ばしにするという方が多い。全県の「特別警報Ⅱ」により飲食店の営業時間短縮や休業が広まり、20時以降の市街地は人出がほとんどない。

燃料

・新型コロナウイルス感染症の影響、原油価格の動向、脱炭素の動きがある。

ガラスサッシ

・原材料の値上げ通知がきていて、これからやりにくい。15%~35%の値上げ幅があり頭を悩ませている。

住宅機器

・オリンピックのためか、8月は少し動きが止まった感じがした。

自転車

・各メーカーが10~13%の値上がりである。

洋菓子店

・先行き不透明だからこそ、今後の会社の在り方を考える方が多くなってきている。改めて働き方改革を意識したい。

パン

・8月は夏休みシーズンで元々売上は多い月だが、夏休みにあわせて企画をたてお客様へアピールできたことで店舗の売上はまずまずだった。観光地への卸の品は今年も発注が控えめだった。旅行客などの動きはまだ鈍い。

和菓子

・販売単価低くなっている。土産用の商品は販売数がとても少ない。

おやき	・お盆のためか、地方発送は多かったがその他は低調だった。新型コロナウイルス感染症のデルタ株が気付きである。早い収束を期待したい。
生鮮食品	・オリンピック、盆の大雨による避難勧告が全国各地に出て、また新型コロナウイルス感染拡大により県外へ出るな、入るなど大変な8月であった。
薬局	・一般の風邪薬の売上は全くない。
手芸材料	・お盆前半位までは悪いなりに来客があったが、お盆後半の悪天候から新型コロナウイルス感染症の拡大も相まって売上が激減した。
化粧品	・8月はオリンピック、天候不順などが続き外出する人が減少した。街中の人通りが少ないように感じる。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

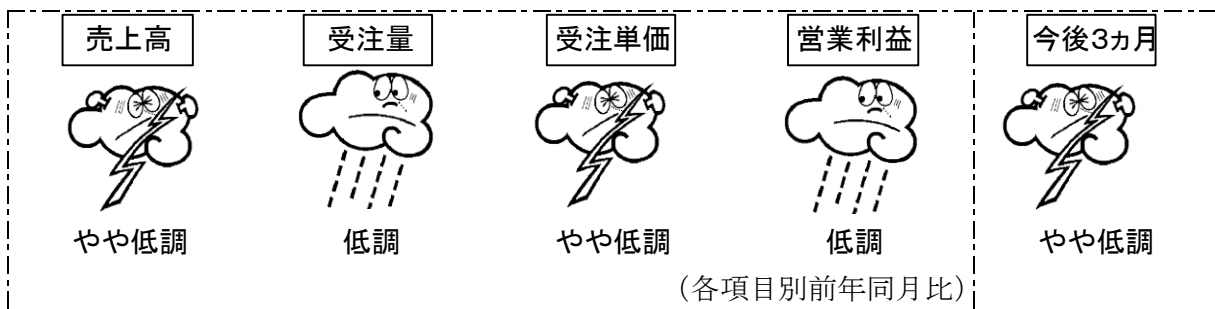
	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 94.1	▲ 88.2	▲ 58.8	▲ 68.7	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 57.9	▲ 18.7	▲ 31.3	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 82.4
販売客数	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 68.7	▲ 93.8	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 18.7	▲ 37.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 76.5
販売客単価	▲ 64.7	▲ 47.0	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 75.0	▲ 66.7	▲ 81.2	▲ 31.6	▲ 37.5	▲ 56.2	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 52.9
営業利益	▲ 94.1	▲ 94.1	▲ 70.6	▲ 81.3	▲ 87.5	▲ 94.4	▲ 81.2	▲ 52.6	▲ 25.0	▲ 43.7	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 82.4
見通し	▲ 41.2	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 15.8	▲ 6.3	0.0	5.0	▲ 15.0	▲ 29.4

<経営者の目・見方・etc>

料理	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィークとお盆の観光シーズンが、2年続けて新型コロナウイルス感染症の影響によって潰された。家賃補助、持続化給付金などの支援がなければ続けていけるかどうか分からない。そしてこの時期に最低賃金まで上がる。踏んだり蹴ったりである。 ・8月前半の暑さと大雨、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、営業できない日が多かった。
創作料理	<ul style="list-style-type: none"> ・月初めから10日頃まで、5件程ではあるが予約が入り、久方ぶりに営業ができた。お盆の仕出し予約（帰省がらみ）も11日～15日にかけて7件程入っていたが、14日以降の予約は新型コロナウイルス感染症と大雨の影響で4件キャンセルとなった。10日以降の来店の予約は新型コロナウイルス感染者の増大、警戒レベルが5に上がった影響で無かった。9月も8件の予約があったが全てキャンセルとなった。

ラーメン	・新型コロナウイルス感染症の影響により時短営業をしているが、客足が悪すぎる。
そば	・8月前半から中旬まで天候不順により全国で災害などが発生し、夏の甲子園大会も長期に渡り中止になった。首都圏では新型コロナウイルス感染が拡大し、松本でも感染者数が増え、時短営業や休業要請となった。今まで以上に警戒心を持って営業していきたい。
寿司	・長野県の要請があり8月14日から休業した。半月営業したのみで店の実態が低調したままとても苦しい事態である。 ・8月24日までの時短要請が延長されて、8月の夜は非常に静かな日が続いていた。夏のイベントはほとんどが中止になり、何か物足りない月であった。
食堂	・前半はワクチン接種が進んだためか来客数が戻ってきたが、松本市の新型コロナウイルス感染者数が増加し、県からの要請で時短営業になったらガクンと売上が落ちた。 ・新型コロナウイルス感染拡大が続き、またお盆の大雨の影響で来客数が落ち込んだ。現状では回復は見込めない。 ・お盆の大雨と営業時間短縮等の要請延長により厳しい日々が続いている。
居酒屋	・緊急事態宣言が出ている地域からの観光客が多く、都会の人達の自分勝手な行動が目についた。新型コロナウイルス感染者数の増える原因を感じた。祭典がなく、活気がなくなってきた。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R2年8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 46.7	▲ 44.1	▲ 17.4	▲ 20.5	▲ 39.6	▲ 51.3	▲ 43.2	▲ 2.4	9.7	13.6	0.0	0.0	▲ 15.0
販売客数	▲ 44.5	▲ 41.9	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 34.9	▲ 56.1	▲ 43.2	▲ 11.9	9.8	2.3	0.0	▲ 6.8	▲ 22.5
販売客単価	▲ 20.0	▲ 20.9	▲ 8.7	▲ 6.8	▲ 14.0	▲ 24.4	▲ 27.2	▲ 2.4	7.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 9.1	▲ 7.5
営業利益	▲ 46.7	▲ 46.5	▲ 21.8	▲ 15.9	▲ 41.8	▲ 53.7	▲ 40.9	▲ 14.3	2.4	▲ 4.5	▲ 9.5	▲ 15.9	▲ 22.5
見通し	▲ 13.4	▲ 4.6	▲ 6.5	▲ 16.0	▲ 23.3	▲ 12.2	4.5	▲ 2.3	▲ 17.1	▲ 2.3	14.2	▲ 18.2	▲ 7.5

<経営者の目・見方・etc>

旅館	・コロナ禍の上に大雨でかつてない程人のいないお盆となった。
温泉旅館	・お盆時期の豪雨災害と全国的な新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きかった。8月中旬からは売上をできるだけ落とさないように必死だった。ワクチンの接種率がある程度の数値に達しないと安心して商売ができない。

観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・8月初旬は天候に助けられてまあまあの入込だったが、お盆の頃からは大雨による通行止め、デルタ株の影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の地域拡大により、客足は途絶えてしまった。9月になっても、宣言や措置はさらに延長されることが予想され、キャンセルの山が築かれそうである。月次支援金だけではとてもやりきれない。9月からの県の助成事業に期待するしかない。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症第5波の影響に加え、豪雨によるお盆時期の不振もあり、昨年とほぼ同じに終わった。変異株の感染力のこともあり、より一層感染防止対策の必要があると感じている。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・OMFを筆頭に松本ぼんぼんなどのイベントが中止になってしまった。また、新型コロナウイルス感染症の第5波による時短要請があった。
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車産業工場が生産調整のため、荷動きが停滞気味で、製品および原料の一部が在庫増となってきた。
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> ・第5波の影響で観光客も少なく厳しい状況が続いている。先が見えないことが何よりも辛い。希望が持てる政策を望んでいる。
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・介護関連への新型コロナウイルス感染防御に全力で取り組まなければならない。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・来店数、売上高共に前年を上回った。しかし、お盆期間のホテル利用が新型コロナウイルス感染拡大前(2019年)に比べて7割減であった。長野県の感染者数も増えてきて、収束に期待はできない。コロナ禍における新しい取り組み方を考えていく必要がある。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・学会、研究会、講演会等が新型コロナウイルス感染症の影響で全てがZoom、オンラインセミナーになってしまった。特に学会につきものの展示会もできなくなってしまい最新情報も滞ってしまっている。8月の経営実績は前年度対比▲7%の減収であった。
写真	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により学校行事やイベントの延期があり、動き出していた結婚式なども延期、縮小、キャンセルなどが多くなり先行きが不透明となった。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量が多い。一部の部品が間に合わない。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ会議の活用、リモートからの共同作業の支援ツールなどにより、コロナ禍以前と引合状況は変わらない。客先での常駐作業を強制されない分作業効率が上がっている。顧客側の問題として、ITの専門家集団を育てる土壤が見られないことが気がかりである。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症第5波に加えて長雨による土砂災害、鉄道の不通等々で輸送人員が少なく売上は前年より減少した。
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年お盆休みで人の流れが多い時期に、新型コロナウイルス感染症と長雨の影響により、静かな8月となった。新型コロナウイルス感染症の影響で飲食業、宿泊サービス業など、とてもピンチな状態らしい。政府の支援ももっとしてもらいたい。我々の仕事にもそろそろしわ寄せが来そうで不安である。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもあり、これといった動きはない。